

問題

直線

395 (1) xyz 空間において、点 $(2, 6, 7)$ を通り、ベクトル $\vec{u} = (1, -2, -1)$ に平行な直線と xy 平面との交点の座標は $(\square, \square, 0)$ である。
(千葉工業大)

(2) 点 $(1, 2, -3)$ を通りベクトル $\vec{a} = (3, -1, 2)$ に平行な直線と、点 $(4, -3, 1)$ を通りベクトル $\vec{b} = (3, 7, -2)$ に平行な直線の交点の y 座標を求めよ。
(千葉工業大)

396 O を原点とする空間に、点 $A(5, 1, -1)$ を通り $\vec{a} = (1, 2, 1)$ を方向ベクトルとする直線 g と、点 $B(6, -4, 0)$ を通り $\vec{b} = (1, -1, -1)$ を方向ベクトルとする直線 h がある。いま、点 P, Q がそれぞれ g, h 上にあり、ベクトル \overrightarrow{PQ} は、 g と h の両方に垂直となっている。 P, Q の座標を求めよ。
(金沢大 改)

チェック・チェック

直線

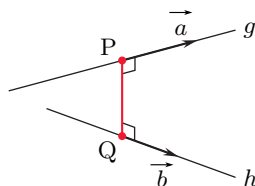
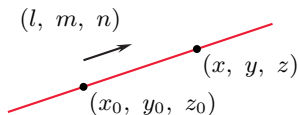
395 点 (x_0, y_0, z_0) を通り、ベクトル (l, m, n) に平行な直線上の点を (x, y, z) とおくと、直線のベクトル方程式は、 t を実数として

$$(x, y, z) = (x_0, y_0, z_0) + t(l, m, n)$$

となります。

(1) は xy 平面すなわち $z = 0$ と連立することにより、(2) は 2 直線の方程式を立てて、連立することにより、交点の座標を求めることができます。

396 \overrightarrow{PQ} が 2 直線 g と h の両方に垂直とは、 \overrightarrow{PQ} が 2 つの直線の方向ベクトル \vec{a}, \vec{b} の両方に垂直ということです。



解答・解説

直線

395 (1) $A(2, 6, 7)$ を通り、 $\vec{u} = (1, -2, -1)$ に平行な直線上の点を P とおくと

$$\begin{aligned}\vec{OP} &= \vec{OA} + k\vec{u} = (2, 6, 7) + k(1, -2, -1) \\ &= (2+k, 6-2k, 7-k)\end{aligned}$$

xy 平面の交点は z 座標が 0 のときなので

$$7-k=0 \quad \therefore k=7$$

したがって、直線と xy 平面との交点の座標は $(9, -8, 0)$ である。

(2) 2 直線上の点はそれぞれ

$$(x, y, z) = (1, 2, -3) + s(3, -1, 2) = (1+3s, 2-s, -3+2s)$$

$$(x, y, z) = (4, -3, 1) + t(3, 7, -2) = (4+3t, -3+7t, 1-2t)$$

とおけるから、これらの 2 直線の交点は

$$\begin{cases} 1+3s=4+3t & \dots\dots ① \\ 2-s=-3+7t & \dots\dots ② \\ -3+2s=1-2t & \dots\dots ③ \end{cases} \quad \therefore \begin{cases} s-t=1 & \dots\dots ① \\ s+7t=5 & \dots\dots ② \\ s+t=2 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

①, ③より $s = \frac{3}{2}$, $t = \frac{1}{2}$ となり、これは②もみたす。

したがって、求める交点の y 座標は

$$y = 2 - s = \frac{1}{2}$$

396 \vec{OP} , \vec{OQ} はそれぞれ実数 s , t を用いて

$$\begin{aligned}\vec{OP} &= \vec{OA} + s\vec{a} = (5, 1, -1) + s(1, 2, 1) \\ &= (5+s, 1+2s, -1+s)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}\vec{OQ} &= \vec{OB} + t\vec{b} = (6, -4, 0) + t(1, -1, -1) \\ &= (6+t, -4-t, -t)\end{aligned}$$

$$\therefore \vec{PQ} = \vec{OQ} - \vec{OP} = (t-s+1, -t-2s-5, -t-s+1)$$

\vec{PQ} が直線 g と h の両方に垂直であるから、 $\vec{PQ} \cdot \vec{a} = \vec{PQ} \cdot \vec{b} = 0$ である。

$$\begin{aligned}\vec{PQ} \cdot \vec{a} &= (t-s+1, -t-2s-5, -t-s+1) \cdot (1, 2, 1) \\ &= (t-s+1) + 2(-t-2s-5) + (-t-s+1) \\ &= -2t-6s-8\end{aligned}$$

また

$$\begin{aligned}\overrightarrow{PQ} \cdot \vec{b} &= (t - s + 1, -t - 2s - 5, -t - s + 1) \cdot (1, -1, -1) \\ &= (t - s + 1) - (-t - 2s - 5) - (-t - s + 1) \\ &= 3t + 2s + 5\end{aligned}$$

したがって

$$\begin{cases} t + 3s + 4 = 0 \\ 3t + 2s + 5 = 0 \end{cases} \quad \therefore s = t = -1$$

であるから

$$\begin{aligned}\overrightarrow{OP} &= (5 - 1, 1 - 2, -1 - 1) = (4, -1, -2) \\ \overrightarrow{OQ} &= (6 - 1, -4 + 1, 1) = (5, -3, 1)\end{aligned}$$

よって

$$\underline{\underline{\mathbf{P}(4, -1, -2), \quad \mathbf{Q}(5, -3, 1)}}$$